

# 2020年度 事業報告書

2020年4月 1日から

2021年3月31日まで

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

公益財団法人 会 田 病 院

# 2020年度 事業報告書

## I. 法人の概況

### 1. 設立年月日

昭和 28 年 1 月 20 日設立

### 2. 定款に定める目的

本公益財団法人は、医療機関及び介護・福祉関連事業の運営を通して、地域が必要としている医療及び介護・福祉の機会確保に寄与すると共に、これらの質の向上に資する事業を展開し、地域住民の健康保持増進並びに社会福祉の向上に貢献することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- ① 救急医療及び地域に不可欠な医療を提供する事業
- ② がん治療等、高度先進医療を提供する事業
- ③ 胸部疾患に関する事業
- ④ 予防医療活動並びに健康増進を啓蒙する事業
- ⑤ 訪問診療・訪問看護・訪問介護を提供する事業
- ⑥ 通所リハビリテーション・ヘルパー事業
- ⑦ 老人及び障害者等へ介護・療養の環境を提供する事業
- ⑧ 保健・医療・福祉に関わる専門職の資質向上を支援する事業
- ⑨ 医師及び看護師その他医療従事者の育成事業
- ⑩ その他本法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁に関する事項

福島県 保健福祉部 地域医療課

### 5. 主たる事務所

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

## 6. 役員等に関する事項（3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理 事 長	会田 征彦	常 勤	代表理事・院長
副 理 事 長	会田 北斗	常 勤	業務執行理事・副院長
専 務 理 事	会田 美代子	常 勤	業務執行理事・事務統括
常 務 理 事	影山 敏男	常 勤	業務執行理事・事務統括
理 事	小池 荘介	常 勤	副院長
理 事	河野 知典	常 勤	副院長
理 事	星野 正美	常 勤	副院長
理 事	竹田 秀	非常勤	(一財)竹田健康財団 理事長
理 事	星 北斗	非常勤	(公財)星総合病院 理事長
理 事	飯田 雄大	非常勤	稲志法律事務所 弁護士
監 事	三部 吉久	非常勤	三部会計事務所 税理士
監 事	加藤 栄一	非常勤	加藤栄一事務所 司法書士

評 議 員	今泉 正規	非常勤	(学法)今泉学園 理事長
評 議 員	岡崎 憲一郎	非常勤	元 矢吹町 中畑郵便局長
評 議 員	滝田 康雄	非常勤	東北アルフレッサ(株) 代表取締役会長
評 議 員	坂本 忠雄	非常勤	元白河市立 五箇小校長
評 議 員	水戸 勘十	非常勤	(株)未来制御 代表取締役
評 議 員	浅川 誠吾	非常勤	(株)浅川電設 代表取締役
評 議 員	松山 真一	非常勤	まつやまクリニック 院長
評 議 員	中島 伊津子	非常勤	(社福)恵愛福祉会特別養護 老人ホーム寿光園 園長

## 7. 職員に関する事項

○2021年3月31日現在の職員数は次の通りである。

- ・総職員数 347名（前期末日増減 -5名）
- ・常勤職員 267名（平均年齢 40.9歳・平均勤続年数 8.6年）
  - 男性 81名（前期末日増減 +3名） 平均年齢 39.9歳
  - 女性 186名（前期末日増減 +2名） 平均年齢 41.3歳

常勤内訳：理事 2 名・医師 10 名・看護師 73 名・准看護師 28 名  
介護支援専門員 4 名・介護福祉士 29 名・ヘルパー 7 名  
看護助手 5 名・薬剤師 5 名・臨床検査技師 6 名  
臨床放射線技師 5 名・理学療法士 22 名・作業療法士 11 名  
言語聴覚士 5 名・臨床工学技士 6 名・管理栄養士 4 名  
医療ソーシャルワーカー 3 名・医療事務 14 名  
医師事務作業補助者 1 名・一般事務 20 名  
ボイラー技士 2 名・運転手 2 名・その他補助者 3 名

・非常勤職員 80 名（前期末日増減 -10 名）

非常勤内訳：医師 55 名・看護師 5 名・准看護師 1 名・介護福祉士 3 名  
ヘルパー 1 名・看護助手 1 名・臨床検査技師 2 名  
管理栄養士 1 名・医療事務 3 名・一般事務 3 名  
ボイラー技士 1 名・運転手 6 名・その他補助者 1 名

## 8. 許認可に関する事項

・2020 年 7 月 1 日付でヘルパーステーションを休止の届出

## II 事業の状況

### 1. 事業概況

2020 年度の概況

2020 年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある。現在も、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や渡航制限、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により、多岐に渡る自粛規制が継続されている。

日本経済においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、2020 年 4～6 月期には、リーマンショック後の 2009 年 1～3 月期を上回るマイナス成長を記録するほどの打撃を受けている。

5 月 25 日に緊急事態宣言が全面的に解除されてから経済活動は段階的に進められているものの、各業界では新しい生活様式に準じた取り組みが求められている。

当病院においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、期初の 4 月から外来患者の激減、健診業務の一時休止等で大幅なマイナススタートとなった。

その後、当地区においては小規模な新型コロナウイルス感染症が発生しただけで推移したため、大きな影響を受けることはなかったものの、外来患者数は前年比 1,872 人の減少、入院患者数については、前年比 502 人の減少となった。

又、10月から、発熱外来を新設、2月より院内PCR検査も開始して地域における新型コロナウイルス感染症拡大対策を行い、2020年度は職員、患者ともに新型コロナウイルス感染症を発生することなく推移した。

診療体制面では、11月から整形外科が常勤医師となり診療体制の強化向上に繋がった。

又、各方面から感染対策に必要な医療物資等の支援協力があり、医療従事者への励まし等が多く寄せられ、医療機関への注目も高まり、激動の一年であった。

2021年においては、延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の是非について、議論されているところではあるが、世界各国から多数の選手、関係者が来日することにより、さらなる感染拡大が危惧されるところであり、可能な限り、地域の救急医療機関としての役割を果たし、職員一同、真摯に業務に取り組んで行く所存である。

## 2. 部門別事業報告

### ① 法人本部

当法人は2013年4月に財団法人から公益財団法人へと移行し8年目を迎え、『良質な医療を安全に提供できる病院づくりにつとめ、地域社会に貢献します』を基本理念に目標達成に向けた取り組みを実施した。

2021年3月には公益財団法人移行後2回目の立入検査を受け、概ね良好と講評を得ることが出来た。

人事面では、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校訪問や説明会等の中止や院内見学もままならない中、動画による病院紹介等募集案内を見直し、見学や応募しやすい体制づくりに取り組み県外からの応募が増加した。

また、働き方改革の取り組みとして、定年を65歳に引き上げ人材の活用及び勤務形態の多様化を図った。二交代制勤務の導入を4・5病棟に引き続き、10月より6病棟を実施し、職場環境の整備と共に確保・定着の強化に取り組んだ。

教育面では、ITを活用した院内研修会の充実や個々のスキルアップに取り組める体制を整備し、「看護師特定行為研修」「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」等資格取得者を育成した。

### ② 本院

医療事業の診療実績は、入院患者数の目標1日平均155名に対し148.8名と目標達成には至らなかったが、平均入院単価は32,501円前年度比+1,040円となった。同様に外来患者数の目標1日平均233名に対し、220.5名と目標達成には至らなかったが、平

均外来単価は 9,406 円前年度比+125 円となった。

病院機能の強化においては、10 月に急性期一般入院料 4 から急性期一般入院料 1 を取得した。しかし、看護必要度が維持できず、3 月に急性期一般入院料 2 へ変更となったが、施設基準の変更により質の向上及び入院料の増収となった。

救急搬送者数は 757 件前年度比+21 件で、応需率 71.9%と前年度比+0.4%、白河地方広域市町村圏では 75.8%と目標の 70%を達成し、二次救急病院の役割を高め積極的な受け入れに取り組んだ。

資質向上については、各委員会や各部署職員が医療の質の確保・改善、医療事故防止等へ意欲的に取り組み、55 件の実績が報告された。新型コロナウイルス感染症に伴う改善が多く取り組まれた。

発熱外来設置に伴う設備や病棟ナースコール等の機器設備の更新、マニュアルの見直し等医療体制の再構築を図り、質の高いサービスの向上及び改善を行った。

#### ・健診センター

今年度は、人間ドックは 1,420 名前年度比+166 名、一般健診は 6,231 名前年度比-755 名、合計 7,651 名前年度比-589 名であった。緊急事態宣言に伴い、健診業務を 4 月 27 日より 3 週間の休止とした。再開後は人間ドックの新規事業所獲得に積極的に取り組み、合計件数は前年度比マイナスだったが収入は前年度比増加となった。

また、生活習慣病による死亡率も依然高い福島県においては健康増進・予防医療の観点から、コロナ禍ながらも特定保健指導実人数 188 名前年度比+6 名と微増であった。

#### ・血液透析センター

今年度の延透析患者数は、9,679 名前年度比-298 名であった。透析実患者数は 61.9 名、うち外来透析患者数は 52.9 名前年度比-0.4 名、入院透析患者数は 8.9 名前年度-1.7 名となった。外来はほぼ同数だったが、入院は他院からの紹介患者が延びず、治療等による転院の患者数も多かった事が要因である。

### ③ すみれ訪問看護ステーション

訪問看護師 3.5 名、訪問リハビリ 2.7 名の体制で実施してきた。利用者実人数は、平均月 79.0 名で前年比 2%の増加。看護師訪問件数は、9.8 名/日で 7%増、リハビリ訪問件数は、9.8 名/日で 5%増、新規利用者数は、4.6 名/月で 17%増、終了者は、6.1 名/月と増減なしだった。全体的に前年比よりは増加したが、目標の訪問件数は、訪問看護・訪問リハビリともに 11 名/日であり、目標達成までは届かなかった。訪問リハビリに関しては、訪問回数の見直し、ST の訪問枠の増加もあり訪問回数の増加につながった。

また、入院患者は、コロナ禍の影響で面会できず、退院し在宅での看取り希望が 10 例あり前年の 2 例より増加した。利用者、家族にとって充実した終末期を提供することができた。

#### ④ すみれ介護相談センター

月平均請求件数は、ケアマネ4名で目標128名のところ実績126.8名。前年度が、126.4名のため、ほぼ同数維持となった。4月は、119名でスタートし新規獲得に努め12月までは128名以上を維持できた。しかし、件数が少し減ったのは、2021年4月でケアマネ1人が退職し新人ケアマネが入職するにあたり、担当人数を振り分けし、新規受け入れを1月から調整したことが目標未達成の要因となった。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、研修会参加が難しかったが、近隣町村の事例検討会やケア会議にはできる限り参加し、困難事例の検討などができた。

#### ⑤ 会田病院ヘルパーサービス

職員数は、常勤1.5名(通所リハビリと兼務1名)と登録ヘルパー2名、常勤換算2.5名で事業を行ってきたが、登録ヘルパーの高齢化と介護職が募集をかけても集まらず、7月から休止となった。

#### ⑥ 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

4月から医師3名(常勤1名、非常勤2名)、7月から常勤医師1が増え、4名体制となった。総訪問件数は、月平均51.7件で昨年と比べて14%の増で、月平均50件の目標を達成できた。新規利用者数は、月平均3.4名、終了者数は、月平均2.8名。また、コロナ禍の影響があり、入院から自宅へ退院し自宅での看取り希望が昨年より増えた。更に、近隣の開業医が高齢化で閉業、体調不良で休業等、当事業所に紹介利用者がきたことにより利用者獲得に繋がった。常勤医師が増えたことで医学管理(医療)の件数も増加し増収となった。

#### ⑦ 会田通所リハビリテーション

2020年度通所利用者数は、6-7時間利用者の一日本平均は28.9名。1-2時間利用者は6.3名であった。6-7時間利用者は、昨年同様の平均人数であった。1-2時間利用者は、0.4名増加した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響にて上期の利用者数減少が著しくみられた。理由としては感染予防の為、利用を控える人やショートステイの利用者増加、ショートステイの利用日数の増加による影響が大きかった。また、居宅介護支援事業所による積極的な利用者訪問ができなかったために新規利用相談が少なかったのも原因であったと思われる。

1-2時間については12月より土曜日の営業を追加し実施したが、リハビリ特化の利用者申し込みが継続して見られていた為、大きく人数を割るということにはなかった。

新型コロナウイルス感染予防のために利用者・家族・居宅介護支援事業所に対し安全、安心を伝えるため常時施設取組の文書発行や口頭による情報伝達をこまめに行うことにより、下期は安定した利用者獲得ができた。

### 3. 収支報告

各事業所が経過報告したように、法人全体の2020年度の決算は、増収増益となった。法人全体の医業収益総額は2,749百万円となり、前年度に対して43百万円・1.6%増加した。一方、これに対する医業費用総額は2,708百万円で、前年比-4百万円・0.2%の減少となった。

詳細は部門別事業報告書に記載した通りであるが、4月スタート時からコロナウイルス感染症の影響で、受診控え、更に健診業務の一時休止もあり大幅な減収を予想していたが、外科、整形外科の手術等があり、それぞれ単価のアップにより増収を図ることが出来た。

しかし、患者数については、外来、入院とも前年比減少した。健診業務についても、4月から5月にかけて3週間業務停止した影響で利用者に変な迷惑をかけたが、6月以降の活発な業務展開で最終的には前年とほぼ同額の177百万円を計上できた。

その他の事業所についても、新型コロナウイルス感染症の影響をうけながら、堅実な活動を行い収益確保に努めた。

経費については、2020年度は収益の確保が難しいということで、各部署経費節減に努めて、前年比6百万円の削減となった。

以上の結果、本年度の医業活動による当期経常増減額(経常損益)は143百万円、これに経常外増減額合算した当期一般正味財産増減額(最終損益)は、142百万円の黒字となった。前年の65百万円と比較すると76百万円の大幅な増益となった。今後も、患者数の増加に努めて引き続き収益確保を継続したい。

### 4. 重要な契約に関する事項

当事業年度において

(1) 長期借入金契約

該当なし

(2) 重要な資産の売買契約

・介護事業所用パソコン更新 14台	3,770,370円
・光学的眼軸長測定装置 OA-2000	3,675,100円
・解析機能付心電計 FCP-8700	1,980,000円
・汎用人工呼吸器サーボベンチレータ SERVO-air 2台	5,170,000円
・ナースコール機器更新	33,000,000円
・リハビリシステム更新	6,297,500円

(3) 重要な工事の発注契約	
・病棟エアコン室外機部品交換工事	1,749,000 円
・病棟スプリンクラー (3・4・5 病棟) 設置工事	139,480,000 円

## 5. 役員会等に関する事項

本年度の5月6月開催定例理事会・評議員会等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の為、みなし決議で開催し、次の通りである。

### (1) 理事会

#### ○ 定 時

- ① 開催日 みなし決議日 2020年5月28日(木)
- ② 議決事項
 

第1号議案	2019年度事業報告承認の件
第2号議案	2019年度決算報告承認の件
第3号議案	定時評議員会をみなし決議で行う件

#### ○ 臨 時

- ① 開催日 みなし決議日 2020年9月24日(木)
- ② 議決事項
 

第1号議案	臨時評議員会開催の件
	開催日 10月15日(木)午後4時30分
	開催場所 公益財団法人会田病院3階講義室

- ① 開催日 2020年10月15日(木)16時
- ② 議決事項
 

第1号議案	新理事選任案承認の件
第2号議案	新評議員選任案承認の件
第3号議案	公益財団法人会田病院常任理事会運営規則改正の件
第4号議案	役員報酬見直し(該当規程改定)の件
- ③ 報告事項
 

代表理事等の職務執行状況の報告について

  - ・2019年度下期職務執行状況報告
  - ・2020年度上期職務執行状況報告
  - ・2020年度上期収支状況報告

① 開催日 2020年10月15日(木)16時55分

② 議決事項

第1号議案 副理事長選定の件

○ 定 時

① 開催日 2021年3月26日(金)

② 議決事項

第1号議案 2021年度事業計画案承認の件

第2号議案 2021年度収支予算案承認の件

第3号議案 2021年度借入限度額案承認の件

第4号議案 2020年度資産取得計画案承認の件

**(2) 評 議 員 会**

○ 定 時

① 開催日 みなし決議日 2020年6月16日(火)

② 議決事項

第1号議案 2019年度事業報告承認の件

第2号議案 2019年度決算報告承認の件

○ 臨 時

① 開催日 2020年10月15日(木)16時30分

② 議決事項

第1号議案 新理事選任の件

第2号議案 新評議員選任の件

第3号議案 役員報酬見直し(該当規程改定)の件

**(3) 業務監査・会計監査に関する会議**

①2020年度 監事監査

開催日 2021年5月13日(木)

内 容 業務監査、会計監査など

#### (4) その他

常勤理事による経営会議を4月から10月は毎月第4月曜日に、11月からは偶数月の第4金曜日に開催した。

### 6. 診療報告

○ 2020年度の診療患者数は、次の通りである。

#### 本院

	2020年度	2019年度	前年比
外来患者総数	64,826名	66,698名	97.2%
一日平均	220.5名	227.6名	96.9%
新患者数	8,827名	9,319名	94.7%
入院患者総数	54,310名	54,812名	99.1%
一日平均	148.8名	149.8名	99.3%
新入院患者数	1,164名	1,221名	95.3%
退院患者数	1,167名	1,206名	96.8%

#### すみれ訪問看護ステーション

	2020年度	2019年度	前年比
利用者実人数	955名	929名	102.7%
訪問延利用者数	5,840回	5,472回	106.7%

#### すみれ介護相談センター

	2020年度	2019年度	前年比
利用者実人数	1,500名	1,507名	99.5%
訪問調査	33名	74名	44.6%

#### ヘルパーサービス

	2020年度(4~6月)	2019年度	前年比
利用者実人数	35名	197名	-%
訪問延利用者数	598回	2,888回	-%

### 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

	2020 年度	2019 年度	前年比
利用者延数	612 名	535 名	114.4%
一日当たり利用者数	2.07 回	1.80 回	115.0%

### 会田通所リハビリテーション

	2020 年度	2019 年度	前年比
延利用者数	10,103 名	9,842 名	102.7%
一日平均利用者数	34.2 名	33.0 名	103.6%

○ 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

品 名	台数	部 署
介護事業所用パソコン	14	通所リハ等
光学的眼軸長測定装置 OA-2000	1	眼科
解析機能付心電計 F C P-8700	1	検査科
汎用人工呼吸器 S E R V O-air	2	ME 室
ナースコール (アイホンヴィーナス)	1	3・4・5・6 病棟
PCR 検査機器スマートジーン (ミズホメディイ)	2	検査科
安全キャビネットステリルガードⅢ	1	検査科

## 7. 医師人事報告

○ 2020 年度の常勤医師の異動は、次の通りである。

### 【着 任】

2020 年	4 月 1 日	内 科	笠 井 美 孝
	4 月 1 日	内 科	武 田 大 樹
	4 月 1 日	泌尿器科	柏 原 裕 樹
	11 月 1 日	整形外科	会 田 北 斗

### 【退 職】

2020 年	7 月 31 日	泌尿器科	柏 原 裕 樹
2021 年	3 月 31 日	内 科	笠 井 美 孝

## 8. 公益事業報告

### (ア) 育英事業

#### 奨学金交付状況

○ 2020年度の奨学生は、次の通りである。

- ・国際医療看護福祉大学校 看護学科通信課程 1名
- ・国際医療看護福祉大学校 1名
- ・郡山看護専門学校 1名
- ・那須看護専門学校 2名
- ・東京工科大学 医療保健学部 看護学科 1名
- ・千葉科学大学 看護学部 1名

### (イ) 公衆衛生協力事業

○ 社会福祉法人へ診療協力を実施した。

- ・社会福祉法人 恵愛福社会 特別養護老人ホーム 寿光園
- ・社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 大信 聖・虹の郷

○ 矢吹町内小中高等学校6校、幼稚園・保育園5施設の内科健診、眼科健診を実施した。

○ 産業医として近隣市町村各事業所の産業安全衛生活動を実施した。(16事業所)

- ・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施
- ・管理栄養士による事業所訪問特定保健指導を実施(7事業所)

○ 人間ドック及び各種健診・保健指導を下記の通り実施した。

健診内容	2020年度	2019年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	7名	3名	233.3%
日本病院会指定による一日人間ドック	1,413名	1,251名	112.9%
一般事業所健診	6,002名	6,773名	88.6%
白河市、西白河郡住民健診	229名	213名	107.5%
計	7,651名	8,240名	92.9%
特定保健指導	188名	182名	103.3%

○ 献血事業協力のため 福島県赤十字血液センター及び矢吹町と協議し、年に2回採血協力を実施した。

実施日 2020年10月28日、2021年3月10日

- 院外での各種イベントは、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止。  
但し、5月12日「看護の日」のイベントのみ院内で開催した。
- 地域住民を対象とする糖尿病教室・呼吸器教室・健康教室等中止。  
実施できたもの  
12月5日 高次脳機能障がい患者家族サロン 家族5名・職員3名参加
- 看護実習、看護体験、白河消防署の救命士研修等の一般の職場体験、研修受入中止。

#### (ウ) 研究研修事業

医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

- ・ 関連大学へ研究助成 2件 2,100,000 円
- ・ 関連各種学会へ事業援助 0件 0 円

#### ○ 消防署救急医療実習受入状況（感染予防のため中止）

実 習 内 容	人 数
白河地方広域市町村圏消防本部 救急救命士資格取得後就業前の病院研修	0名
白河地方広域市町村圏消防本部 救急隊長病院研修	0名

#### ○ 看護学生等の実習受入状況

職 種	学 校 名	人 数
看護学生	国際医療看護福祉大学	2名
	白河厚生総合病院附属高等看護学院	6名
薬学生	東北医科薬科大学	2名
リハビリテーション科学生	国際医療看護福祉大学	2名
	新潟医療福祉大学	1名
	山形医療技術専門学校	3名
	郡山健康科学専門学校	4名
	東北福祉大学	1名

## ○ 院内外研究発表（看護部）

### 院内研究発表

- ・ 演題 1 療養病棟における看護職・介護職の身体保清に関する意識調査  
3 病棟 安田 巨樹
- ・ 演題 2 術後せん妄症要因の検証  
4 病棟 皆川 一寿
- ・ 演題 3 エンゼルケアに関する現状  
5 病棟 根本 千種
- ・ 演題 4 退院後に向けた内服自己管理に関するスタッフの意識調査  
6 病棟 阿部 美香
- ・ 演題 5 外来での急変対応研修効果の検証  
外 来 渡辺 尚子

### 院外研究発表

県南支部主催看護研究発表会（抄録のみ）

- ・ 演題 1 術後せん妄症要因の検証  
4 病棟 皆川 一寿
- ・ 演題 2 外来での急変対応研修効果の検証  
外 来 渡辺 尚子

## ○ 教育研修事業（階層別研修は中止）

（人事関係）

開催日		研修名	参加人数
2020 年	7 月 2 日	中途採用者オリエンテーション	6 名
	10 月 1 日	中途採用者オリエンテーション	4 名
2021 年	1 月 5 日	中途採用者オリエンテーション	4 名
	3 月 27 日	新入職員オリエンテーション	25 名

## ○ 医療安全

### 医療安全研修（院外）

開催日		研修名	参加人数
2020 年	8 月 21 日	チームで取り組む医療安全	1 名
	11 月 11 日	新人のための医療安全	4 名
	11 月 19 日	リスクマネジメントと看護記録	4 名
	12 月 9 日	医療安全管理者養成講習（継続研修）	1 名
2021 年	2 月 26 日	医療安全フォローアップ研修	1 名
	3 月 6 日	医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」	1 名

## ○ 感染対策

ICS 3名（平成21年、25年、28年取得）

月1回の感染対策委員会、感染リンク部会、週1回感染対策チーム（ICT）で感染に対する指導、教育を行っている。また、星総合病院での年4回の合同カンファレンスに参加していたが、2020年6月から白河厚生総合病院との連携に変更した。医師、臨床検査技師、薬剤師、看護師の4名が参加し感染情報の共有に努めている。

### 感染対策研修（院内上期）

開催日	研修内容	看護部	他職員	合計
4月20日～ 5月15日	PPEの着脱方法研修 (e-ラーニング、実技研修)	144名	119名	263名
資料配布者		0名	0名	0名

### 感染対策研修（院内下期）

開催日	研修内容	看護部	他職員	合計
3月15日～ 3月26日	標準予防策と感染経路別予防策 医療従事者に必須の感染対策の基礎 (e-ラーニング全体研修コース)	151名	121名	272名

### 医療安全院内企画研修（全職員対象）

開催日	研修内容	参加人数
6月11・12・ 15・18日	2020年度上期医療安全研修 「現場でできるヒューマンエラー対策」	279名
2月18日～ 3月20日	2020年度下期医療安全研修 「身につけておきたい医療現場の情報リテラシー」 ～情報漏洩はこうやって起きる～	264名

## ○ BLS研修

開催回数（6月から2回/月実施）	参加人数
17回	234人（全職員の92.1%参加）

## ○ 認知症院内研修

開催日	研修内容	参加人数
7月から10月	認知症事例検討会	31名

○ 会田病院認知症キャラバン・メイト活動内容

開催日	研修内容	参加人数
12月5日	認知症サポーター養成講座	25名 (院内21名・院外4名)

※上期中止

○ 看護必要度評価者院内指導者研修

開催日	研修内容	参加人数
8月2日	看護必要度評価者院内指導者研修	1名
8月30日	看護必要度評価者院内指導者研修	1名

○ 看護部教育委員会主催 看護部院内研修

	開催日	研修内容	参加人数
2020年	11月10日	前期伝達講習会	29名
	11月17日	貧血について	16名
	12月1日	経管栄養について	7名
	12月15日	糖尿病について	8名
2021年	1月5日	血液ガスについて	10名
	1月19日	下剤について	3名
	3月17日	後期伝達講習会	25名

○ 2020年度 新人・プリセプター対象研修

開催日	研修内容	参加人数
4月1日	看護部オリエンテーション	10名
4月1日	排泄ケア	11名
4月1日	褥瘡のサインを見逃すな・当院の褥瘡対策	11名
4月1日	口腔環境を改善すれば健康に！ ～口から病気を予防しよう～(e-ラーニング)	11名
4月2日	医療安全	12名
4月2日	感染対策	12名
4月3日	基本的ケア	10名
4月3日	バイタルサインでわかる患者の異変(e-ラーニング)	4名
4月3日	経管栄養	6名
4月3日	初めての吸引でも自信をもって行える吸引の手技 (e-ラーニング)	10名
4月3日	血液ガス分析装置の使い方	7名

開催日	研修内容	参加人数
4月6日	人工呼吸器のファーストタッチ 看護のポイントとアラーム対応(e-ラーニング)	5名
4月6日	排泄ケアにおける感染予防 ～膀胱留置カテーテルと観血的導尿～(e-ラーニング)	4名
4月6日	人工呼吸器	7名
4月7日	そこが知りたい！採血の手技と基礎知識(e-ラーニング)	4名
4月7日	静脈注射(留置針)の基本的技術を学ぶ(e-ラーニング)	4名
4月7日	転倒・転落への焦らないA to Z(e-ラーニング)	4名
4月7日	看護必要度	5名
4月7日	トランスファー・ポジショニング・嚥下評価 口腔ケア	17名
4月8日	当院の看護体制・看護記録 うちの病院ならこれでOK 効率的な看護記録をつけるコツ(e-ラーニング)	4名
4月8日	看護師としての社会人基礎力とは(e-ラーニング)	9名
4月8日	ポートフォリオ	8名
4月8日	コミュニケーション・タイプ診断(e-ラーニング)	8名
4月8日	酸素ボンベの使い方	4名
4月9日	オーダーリング・看護支援(経験者)	3名
4月22日	安全な採血・静脈注射手技 輸液ポンプ・シリンジポンプ	6名
4月23日	オーダーリング・看護支援(新卒)	4名
5月7日	緊急時の看護	4名
5月7日	1秒でも早くあなたができる急変対応 ～手技・連絡・応援～(e-ラーニング)	4名
5月7日	当院の医療 入退院支援室について	6名
5月8日	看取り期の患者・家族ケア(e-ラーニング)	4名
5月8日	医事課・薬剤科・検査科・栄養科説明	4名
5月8日	これから輸血を学ぶ、学び直す看護師へ(e-ラーニング)	4名
6月3日	心電図モニターの活用方法を知る ～根拠を理解して冷静に行動しよう～(e-ラーニング)	4名
6月3日	心電図	4名
6月3日	新人看護師のための睡眠講座(e-ラーニング)	6名
6月3日	夜勤の睡眠対策(e-ラーニング)	6名
6月3日	夜勤導入に向けて	6名

開催日	研修内容	参加人数
6月～	ローテーション研修	6名
7月6日	3ヶ月新人フォローアップ（既卒）	3名
7月8日	3ヶ月新人フォローアップ（看護職）	4名
7月8日	3ヶ月新人フォローアップ（介護職）	2名
8月5日	3ヶ月プリセプターフォローアップ	6名
8月19日	本当にそれで大丈夫？薬剤投与の注意点(e-ラーニング)	4名
10月7日	6ヶ月新人フォローアップ研修（既卒）	3名
10月14日	6ヶ月新人フォローアップ研修（看護職）	4名
10月14日	6ヶ月新人フォローアップ研修（介護職）	2名
10月14日	プリセプターフォローアップ研修（6ヶ月）	6名
12月5日	多重課題研修（演習）	7名
12月5日	多重課題を乗り越えるための優先順位の考え方（e-ラーニング）	7名
2月17日	プリセプターフォローアップ研修（1年）	6名
2月24日	1年新人フォローアップ研修（看護職）	4名
2月24日	1年新人フォローアップ研修（介護職）	2名
2月27日	プリセプターフォローアップ研修（1年）	3名
	合計	322名

### ○ e-ラーニング研修（自己視聴）

	研修名	上期 視聴人数	下期 視聴人数
基礎習得コース	バイタルサインでわかる患者の異変 ～ABCDEアプローチでもれなく確認～	7名	3名
	初めての吸引でも自信をもって行える ～患者が楽になる排痰・吸引ができる～	2名	1名
	静脈注射（留置針）の基本技術を学ぶ ～安全で確かな技術を身につける～	0名	1名
	やさしく学べる！最新エビデンスに基づいた疼痛看護	0名	2名
	自信をもって取り組める！ 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な操作と管理方法	2名	3名
	排泄ケアにおける感染予防 ～膀胱留置カテーテルと間欠的導尿（自己導尿含む）～	1名	0名
	そこが知りたい！採血の手技と基礎知識	3名	0名
	情報として使える看護記録 ～チームで共有するために～	2名	3名

	研修名	上期 視聴人数	下期 視聴人数
基礎習得コース	看取り期の家族支援	2名	4名
	多重課題を乗り越えるためのコミュニケーションと優先順位の考え方	2名	1名
	転倒転落へのあせらない対処法 A to Z	6名	3名
	これから輸血を学ぶ看護師へ ～事例から学ぶ安心・安全な輸血ケア～	4名	1名
	新人看護師のための睡眠講座～良眠のための習慣～	2名	0名
	夜勤の睡眠対策	2名	0名
	コミュニケーション・タイプ診断	2名	3名
	口腔内環境を改善すれば健康に！ ～口から病気を予防しよう～	13名	0名
	褥瘡のサインを見逃すな！ ～前兆と確認方法、評価方法を理解しよう～	32名	4名
	本当にそれで大丈夫？薬剤投与の注意点	16名	0名
	心電図モニターの活用方法を知る ～根拠を理解して冷静に行動しよう～	25名	2名
	看護職としての社会人基礎力とは	5名	1名
	1秒でも早くあなたができる急変対応 ～手技・連絡・応援～	37名	2名
	人工呼吸器のファーストタッチ 看護のポイントとアラーム対応	11名	3名
中堅コース	呼吸器系のフィジカルアセスメント	39名	19名
	患者のQOL向上につながる排尿自立のエッセンス	0名	4名
	オーラルフレイル/口腔機能から考える「食べること」	5名	0名
	チームで支援する術後回復促進策	5名	2名
	知って安心、成人てんかんへの対応	4名	4名
	急性増悪に強くなる！慢性呼吸不全の最新ケア	24名	23名
	がん薬物療法の基礎知識を使って看護計画を立てる	3名	3名
	妊娠と糖尿病の基礎知識とケア ～妊産婦と家族を支える連携～	2名	0名
	看護の質向上のための業務改善	4名	9名
	初めての手術室	0名	6名
	地域と連携して子供虐待をケアする	0名	1名

	研修名	上期 視聴人数	下期 視聴人数
中堅コース	入退院支援プロセスと多職種連携	40名	15名
	血液ガスから考える呼吸アセスメント	47名	8名
	看護師が行うリハビリテーション栄養	16名	4名
	がん看護に強くなる！ がん性疼痛の痛みの評価と緩和ケア	16名	1名
	高齢者骨折の看護計画～回復期から維持期まで～	22名	1名
	妊産婦のメンタルヘルスケア	3名	0名
	腹腔鏡手術における看護師の役割	9名	0名
	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）のコツ	34名	60名
	脳卒中再発予防における治療と看護	19名	4名
	心不全患者における看護計画と緩和ケア	44名	17名
	患者の暮らしを支える糖尿病・透析看護の基本	10名	3名
	外来看護で実践できるフットケア	16名	2名
	アウトブレイク対策 ～薬剤耐性菌と抗菌薬の適正使用を知ろう～	9名	6名
看護管理コース	部下のやる気高める目標設定と面談の活用	9名	3名
	どう対応すればよい？看護における「働き方改革」	8名	5名
	ハラスメント”ゼロ”に向けた職場づくり	9名	5名
	看護スタッフがひきつけられる魅力的な病院づくり	3名	4名
	コンピテンシー・モデルを用いた看護管理者の育成-1	0名	5名
	コンピテンシー・モデルを用いた看護管理者の育成-2	0名	4名
	看護実践能力を育成するためのリフレクション	18名	0名
地域包括ケアシステム推進のための 病院看護管理者の役割	7名	0名	
リーダー育成コース	1年目から始めるメンバーシップ ～チームで働くって何だろう～	2名	1名
	学習者を伸ばすシミュレーション教育の基本	5名	1名
	実践！シミュレーション教育 ～看護実践力アップのこつ～	3名	2名
	怒らない、怒らせないかわり方 ～配慮が必要なスタッフの対応～	3名	4名
	「ありがとう」のあふれる組織をつくる かっこいい自分をイメージさせる目標管理	2名	2名

	研修名	上期 視聴人数	下期 視聴人数
リーダー育成コース	いまだき世代を引き出す ～対話で広がる組織の輪～	7名	1名
	できる！明日からの日勤リーダー ～しっかり備えてばっちり対応～	3名	0名
	強くなる！明日からの夜勤リーダー	1名	1名
重症度、医療・看護必要度コース	重症度、医療・看護必要度の評価ポイント 【初級編：評価に関する基本的な考え方】	3名	0名
	重症度、医療・看護必要度の評価ポイント 【中級編：迷いやすい評価ポイント】	2名	0名
	重症度、医療・看護必要度に必要な看護記録の書き方	3名	0名
	2020年度診療報酬改定における 重症度、医療・看護必要度の変更点	2名	0名
	診療報酬改定対応：チェック動画×テスト No2	2名	0名
認知症コース	〈医学編1〉認知症の原因疾患と病態・治療	5名	0名
	〈医学編2〉認知症とせん妄～症状と心理状態を知る～	3名	3名
	〈事故防止編〉認知症患者の看護に必要な医療安全	2名	62名
	〈倫理編〉認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	4名	2名
	〈看護編1〉 認知症の人に対する看護に必要なアセスメント	12名	4名
	〈看護編1事例〉 認知症の人に対する看護に必要なアセスメント	5名	4名
	〈看護編2〉認知症の人とのコミュニケーション 〈看護編2事例〉 認知症の人に対するコミュニケーション方法	19名 17名	4名 3名
院内全体研修コース	新型コロナウイルス感染症が変えた医療現場	1名	5名
	安全のための改善活動 ～私ができる医療安全～	3名	1名
	現場でできるヒューマンエラー対策	65名	0名
	チーム医療とは何ですか？何ができるとよいですか？ ～チーム STEPPS～	0名	0名
	動画で実践！KYT（危険予知トレーニング）	0名	0名
	スタンダード・プリコーション（標準予防策）と 感染経路別予防策	0名	0名
	医療従事者の感染リスク軽減 ～針刺し切創、皮膚粘膜暴露～	0名	1名

	研修名	上期 視聴人数	下期 視聴人数
院内 全体 研修 コース	流行性ウイルス感染症と予防接種を知る	0名	0名
	インフルエンザ感染予防対策	0名	3名
	立ち止まる臨床倫理のススメ ～臨床倫理入門～	1名	0名
	物語る臨床倫理のススメ ～事例からみんなで考え探す患者の幸福～	0名	0名
	遺伝医療をめぐる倫理的課題と看護職の役割を考える ～がんの臨床を中心に～	0名	0名
	チームアプローチでデザインする医療ケア	2名	0名
	チーム医療を成功させる	2名	0名
	質の高いチーム医療・多職種とのコミュニケーション	4名	1名
	災害発生時の初動体制～病院での対応～	1名	1名
	災害時に慌てないためにどう備える？ ～看護師としてどう動くか～	0名	0名
	災害時に医療従事者が自身の身を守る為に	2名	0名
	災害時のコーディネート	1名	0名
	2020年度診療報酬改定のポイント	0名	3名
	看護部が押さえておきたい診療報酬 ～地域を見据えた病院のあり方を考える～	0名	3名
	相手の思いをくみ取り理解するクレーム対応の極意	5名	34名
	ポジティブなチームワークの生み出し方 ～生産性と信頼関係を高める～	1名	1名
	組織のストレスマネジメント ～ストレスチェックを利用した職場づくり～	0名	1名
	個人のストレスマネジメント ～職場のポジティブメンタルヘルス～	0名	2名
	医療職に必要な「社会人基礎力」の育て方	1名	0名
	医療者にとって本当に必要な接遇とは ～専門職業人の基本的態度～	5名	1名
よくわかる個人情報と取り扱い方	0名	0名	
身に着けておきたい医療現場の情報リテラシー ～情報漏洩とその対策～	0名	14名	
院内発表につなげる気づき ～気づきから臨床研究につなげるために～	18名	5名	

	研修名	上期 視聴人数	下期 視聴人数
	文章の書き方 ～人に伝わる文章を書くコツ～	4名	2名
	倫理的配慮の基本	1名	0名
	文献はなぜ読むの？どう探すの？	2名	0名
	発表できをつけること、抑えるポイント ～次の看護研究につなげるために～	1名	0名
	コースオリエンテーション ～看護研究をはじめするために～	7名	3名
	看護研究とは？どうして研究するの？	12名	5名
	研究論文を作成するⅠ ～研究結果を表現する～	1名	0名
	視聴人数合計	846名	435名

### ○ エイド集合研修

開催日	研修内容	参加人数
8月12日	介護職としての基本的業務への理解	10名
9月9日	介護職としての基本的業務への理解	15名
10月14日	介護職としての基本的業務への理解	14名
10月14日	おむつの当て方動画視聴研修(ユニ・チャーム)	40名

### ○ 患者サービスに関するイベント・ボランティア等

3・6病棟矢吹図書お話し会（読み聞かせや指運動等）は、中止。

### ○ 病棟レクリエーション

	開催日	部署	内容	参加人数
2020年	7月7日 ～21日	6病棟	七夕まつり 短冊飾りつけ	患者 25名・職員 3名
	8月5日	6病棟	夏祭り	患者 25名・職員 5名
	12月15日	3病棟	クリスマス会	患者 8名・職員 5名
	12月25日	6病棟	クリスマス会	患者 25名・職員 10名
2021年	1月20日	6病棟	新年会	患者 25名・職員 5名
	2月16日	6病棟	節分	患者 27名・職員 5名
	3月12日	6病棟	ひな祭り	患者 28名・職員 10名

## (エ) 救急医療活動

- 救急医療に対し、救急告示病院として全日救急患者受け入れに対応した。  
当地区病院群輪番制病院運営事業に第二次救急医療機関として、積極的に地域救急医療に協力した。

### 2020 年度 救急搬送診療応需状況

	要請件数	うち応需件数	応需率
白河広域圏 (内 矢吹町)	591 件 (221 件)	448 件 (187 件)	75.8% (84.6%)
須賀川地方広域圏他	166 件	96 件	57.8%
合計	757 件	544 件	71.9%

## 9. 設備改修工事等報告

2020 年度に実施した工事は、以下の通りである。

- ナースコール機器更新工事
- 病棟エアコン室外機部品交換工事
- スプリンクラー設置工事 (2021 年度も継続)
- 外来棟 Free Wi-Fi 環境整備工事
- 2 月 13 日発生福島県沖地震被害復旧工事 (2021 年度も継続)

## 10. 労使関係報告

- 特に無し

## 11. 庶務事項報告

- 防火避難訓練・防災訓練を次の通り実施した。

2020 年	6 月 10 日 (木)	(防火部分訓練)
	7 月 29 日 (木)	(防火部分訓練)
	10 月 19 日 (火)	(防火総合訓練・基礎訓練)
2021 年	3 月 29 日 (月)	(防災訓練)

○ 2020年度の外部団体並びに当法人からの職員に対する表彰は、次の通りである。

2020年5月15日 2020年度 矢吹町商工会  
優良従業員表彰 小林 真由美  
安藤 梓

2021年1月4日 2020年度 永年勤続者表彰式(当法人)  
永年勤続表彰 20年 佐久間 公司  
桑名 重夫  
芳賀 幸代  
渡邊 香織  
草野 真知子  
永年勤続表彰 10年 白岩 和香子  
鈴木 友美  
赤井 なおみ  
郡司 敦実  
鈴木 洋子  
須藤 佳子  
永沼 和子  
水野 加奈子  
渡邊 幸一  
赤塚 絵美子  
大森 正道  
田中 英嗣  
山中 春美  
草野 一美  
曾我部 優子  
瀧波 佳代子  
田崎 涼子  
小針 優子  
武田 歩  
千葉 隆史  
鈴木 真奈美  
野崎 恵子

## 12. 主要記事

2020年	4月 2日	新入職員入社式並びに辞令交付式	
	4月 16日	新型コロナウイルス感染症全国緊急事態宣言	
	4月 17日	新入職員接遇研修	
	4月 20日	各部署 PPE 着脱研修会	
	5月 12日	会計監査(現物照合・三部会計事務所にて) 監事監査	
	5月 12日	「看護の日」事業	
	5月 28日	定時理事会 (みなし決議による)	
	6月 1日	辞令交付式	
	6月 10日	自衛消防訓練 (6病棟)	
	6月 16日	評議員会 (みなし決議による)	
	7月 2日	辞令交付式 中途入職者オリエンテーション	
	7月 29日	自衛消防訓練 (5病棟)	
	8月 3日	辞令交付式	
	9月 1日	辞令交付式	
	9月 14日	令和2年度保健所立入調査	
	10月 1日	中途入職職員オリエンテーション	
	10月 15日	理事会・評議員会	
	10月 19日	秋季総合自衛消防訓練 (矢吹消防署)	
	10月 28日	献血活動	
	11月 13日	辞令交付式	
	12月 1日	辞令交付式	
	12月 5日	高次脳機能障がい患者・家族サロン	
	12月 5日	認知症サポーター養成講座	
	2021年	1月 4日	辞令交付式 永年勤続者表彰式
		1月 5日	中途採用者オリエンテーション
		2月 20日	奨学生説明会
		3月 1日	辞令交付式
		3月 10日	献血活動
		3月 23日	公益財団法人立入検査
		3月 26日	理事会
		3月 27日	新入職員オリエンテーション
3月 29日	防災訓練		